



落合 康之 議員



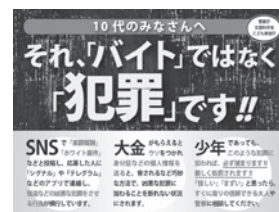
道徳教育について

問 5月に栃木県上三川町で起こった強盗殺人事件は、16歳の男子高校生が実行役となっていたことに衝撃を受けた。16歳と言えば高校1、2年生であり、中学を出てまだ間もない時期である。犯罪を減らす道徳教育が今こそ必要ではないか。①小学校・中学校での道徳教育はどうなっているのか。②全国で多発している匿名・流動型犯罪について教育長はどのように考えて

いるか。③即効性は望めないが、将来にわたり安心、安全に暮らせる世の中をつくるためにも、道徳教育をさらに充実させる必要性があると思うがいかがか。

答 ①学習指導要領において、道徳教育は特別の教科である道徳を要として、学校の教育活動全体を通じて行うものであり、児童生徒の発達段階を考慮しながら適切な指導を行うこととなっている。②若者が安易に重大な犯罪へ巻き込まれる点で深刻な問題だと認識している。本市においては、学校と警察が連携し、児童生徒を犯罪から守る取り組みを進めている。具体的には、中学校1校で警察官を講師に招き、防犯教室を行い、匿名・流動型犯罪の恐怖について

講話をいただいた。今後は、この防犯教室を市内に広めていきたい。③道徳教育の充実が極めて重要である。特にSNSを介してさまざまな犯罪に巻き込まれることが多いので、SNS使用に関して各学校で毎年指導の機会を設けている。将来の安心、安全な社会の実現に向け、インターネットの使い方に関する指導を含め、道徳教育のさらなる充実に引き続き取り組む。



出典：警察庁ウェブサイト
(<https://www.npa.go.jp/rules/index.html>)

《その他の質問》

- ・自治会・行政区の在り方について
- ・ぐるりん号運行車両について



秋庭 繁 議員



EVモーターズのぐるりん号の安全性について

問 古河市のEVバス安全性の問題と会社の倒産を新聞報道で知った。国土交通省が運行停止・リコール指示を出している。①EVバス2台のリコール箇所と不具合の報告件数について。②JRバス関東では、乗務員の半数以上が不安な中で運転していると聞いたが大丈夫か。③何かあった場合の責任を株式会社EVモーターズ・ジャパンは取れるのか。

答 ①ブレーキホースの交換が対象となった。不具合はJRバス関東2件、茨城急行自動車9件である。②特に問題ないと伺っている。③現在民事再生中で行く末は定まっていないため、個々の状況に応じて迅速に対応できるように検討する。



国土交通省の検査で指摘のEVバス
(ブレーキ不具合等)

情報公開と個人情報の保護について

問 ①情報公開制度の目的は何か。②18歳と22歳の名簿を自衛隊に提供しているが、「除外申請」の周知について伺う。

答 ①市民の知る権利の保障と市政の参加を推進するとともに、市の諸活動を市民に説明する責務を全うし、公正で開かれた市政を実現することである。②市HPと広報4月号で周知をした。市HPでは、受付期間外である現在も継続して掲載している。

《仮称》古河市新公会堂整備・運営事業について

問 ①新公会堂建設をPFI方式と決めたが、本来事前にLCC^(※)を市民に示すべきだ。②運営費等金利上昇で250億を超える負担増について。

答 ①8月全員協議会で公表する。②経済性の高い設備機器導入、計画的保全による修繕費抑制を図り、LCC削減に努める。

※LCC…ライフサイクルコスト、維持管理費用+更新費のこと